

温室効果ガス削減「見える化」による米販売を開始

～見える化ラベルの実証事業により消費者にアピール～

JA越前たけふ（越前市）

温室効果ガス削減「見える化」について

- ◆現在、環境問題である温室効果ガスの削減について、農業分野においても、生産者の削減努力を的確に評価し、分かりやすく消費者に伝える取組が注目されている。
- ◆生産者の環境負荷低減の取組を「見える化」することで、消費者が地球環境に良い農産物を選択できる環境を整えていく。
- ◆具体的には、温室効果ガスの削減率を、星の数で表示「見える化」し販売店と連携して販売実証に取り組む。
- ◆JA越前たけふにおいては、今年6月に越前市、県民生協、市社会福祉協議会との4者により温室効果ガス削減運動に関する連携協定を締結し、「見える化」の取組を開始。

【温室効果ガス削減ラベル】

削減率5%以上で星1つ、10%以上で星2つ、20%以上で星3つ



温室効果ガス削減ラベル



（株）コープ武生での販売実証

* JA越前たけふの関連会社（株）コープ武生の3店舗にて販売実証 *

- ◆県特別栽培米の認証区分1（農薬・化学肥料不使用）のコシヒカリ：星3つ
ほか、コウノトリ呼び戻す農法米（生物多様性に配慮した農薬・化学肥料不使用）の「いちほまれ」含む。
- ◆県特別栽培米の認証区分3（※1）のコシヒカリ：星2つ
- ◆県特別栽培米の認証区分4（※2）のコシヒカリ：星2つ
- ◆JA越前たけふ管内で「見える化」ラベルの対象になる米は1,500t。
（米の小売店での取り組みは北陸3県で初）
- ◆今年9月より販売開始、本格販売は10月上旬より。
- ◆（株）コープ武生以外にも関西などの米卸と連携して精米袋にラベルを貼り付け実証の取組を拡大。

※1 県特別栽培米の認証区分3（農薬1/2以内、化学肥料不使用）

※2 県特別栽培米の認証区分4（農薬1/2以内、化学肥料1/2以内）

取組の成果

（株）コープ武生平出店 米販売責任者の声

- ◆販売店舗ではポップを作成し、見える化についてPRしており、お客様からは、「このマークは何？」など質問を受けしールへの関心は大きい。
- ◆ニュースを見て知っている消費者もあり、販売員より理解されている方もいる。また、県外から商品を求めて来店される方もいて、反響は好調である。



農業者や小売店の皆さんも、

温室効果ガス削減の「見える化」

に取り組んでみませんか？

○農水省HP：温室効果ガス削減「見える化」URL

https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/being_sustainable/mieruka/mieruka.html

北陸農政局福井県拠点

(TEL：0776-30-1611)